

自己評価・学校関係者評価結果公表シート（令和５年度）

学校法人若竹学園千里幼稚園

１．本園の教育目標

子どもたちがしっかりと、正しく、まっすぐのびる「自分の木」になれるよう、じょうぶな「根っこ」を育みます。

２．本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年の年間行事計画と「ことば」「かず」「もじ」「描画」「体育」「音楽」「タブレット」などの指導計画により、子どもたちの健やかな心と体、豊かな人間関係、環境を思いやる心、ことばの確立、豊かな表現力を育てます。安全・安心を保育目標に加え防災・防犯、交通安全と感染症対策の強化を図ります。

２．評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育理念や教育方針の職員・保護者への周知。	園の教育理念・教育方針について園便りや行事等を通じて周知を図った。
教育計画に基づく具体的保育案の作成と実施。	職員間での情報交換、保護者との対話を行いながら、共通理解を深めつつ保育の実施を心がけた。
地域や保護者との情報共有化と、意見や苦情に対する適切な対応。	保護者からの相談・意見の一つ一つに対して保護者の立場にたち丁寧・親切な対応に心がけ、園で起きた事故等に関しては迅速な開示と説明責任を果たすことに心がけた。
防災・防犯、交通安全、感染症対策など安全・安心の確立	防災・防犯、交通等安全体制確立のため、避難訓練、行政と連携した防災訓練・交通安全教室を実施した。また新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策を徹底するとともに、送迎バス安全装置の取り付けとチェックリストによる安全点検を実施した。
職員の教育研修の充実。	多くの行事の実施等多忙な保育活動のなか、オンデマンドによる研修等に参加した。日中実施される研修は参加が難しいので今後対策が必要である。
園の運営と職場環境の改善	職員との意識や情報の共有、残業の節減など効率的な業務遂行を行うことで職場環境を改善する。

４．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組む課題について教職員の共通認識を十分図ることが出来なかった。自己評価表により評価基準が明確になり、内容的には厳しい評価となった面もあるが、かえって園が抱える課題が浮き彫りになった。

また保育や園運営に関する貴重な意見もあったので、課題を園内で共有して今後の運営に活かしていきたい。バス送迎に関して安全を図るため園内での周知、地域との連携を図ることが出来た。今後も、地域・保護者への広報活動を積極的に行うことで園への認知度を高めたい。

5．今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
異年齢児の日常的交流の充実	異年齢児保育をより充実させるため、園児が日常的に触れ合える機会を増やすよう保育環境を整える。
職員の確保と職場環境の改善	近年職員確保は大変厳しいものがあるが、学生が応募しやすい環境、魅力的な職場環境を構築することで、毎年の職員確保を実現させたい。
適正な事務処理と効率化	事務の適正化・効率化を図るため、ICT 化をさらに進め思い切った事務作業の軽減と情報の共有化を図る。
未就園児の保育環境の充実	子育て支援に対する地域のニーズに応えるため、未就園児クラス、満3歳児クラスの拡充に努めるとともに、保育内容の一層の充実化を図る。

6．学校関係者の評価

評価者：教育関係者2名 保護者2名

評価結果：教育計画、教育内容、安全安心、保護者対応などについて総合的な評価の結果、教育計画、教育内容、行事など保護者に丁寧に周知され、安全・安心面でも十分配慮され適切に運営されている。本園の教職員は大変親切で、保護者の疑問やクレームにも親切、細やかに対応している。また子育て支援についてもさくら会、預かり保育など熱心に取り組んでいる。

ただ預かり保育のカリキュラムが良く判るよう、より周知が必要なこと、子育て相談会などを開催するなど子育ての悩みにも、より積極的に取り組んでいくことが課題である。

7．財務状況

監事及び公認会計士監査により、財務状況は適正と認められた。